

令和3年度 講座「丹波学」 講義日程・講師紹介

<p>第1回</p> <p>8/28(土)</p> <p>14:00～15:30</p>	<p>「足利尊氏の挙兵と丹波」</p> <p>花園大学・専任講師 生駒 孝臣 氏</p> <p>三重県生まれ。大阪教育大学教育学部卒業。名古屋大学大学院文学研究科博士前期課程修了。関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学。博士(歴史学)。専門は日本中世史(中世武士団研究、中世畿内政治史)。著書は『中世の畿内武士団と公武政権』(戎光祥出版)、『楠木正成・正行』(戎光祥出版)、『南北朝武将列伝 南朝編』(共編著、戎光祥出版)、『楠木正行・正儀』(ミネルヴァ書房)など多数。</p>
<p>第2回</p> <p>9/18(土)</p> <p>14:00～15:30</p>	<p>「戦前戦中における芦田均」</p> <p>大阪観光大学・専任講師 久野 潤 氏</p> <p>大阪府生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業。京都大学大学院法学研究科国際公共政策専攻修了。支那事変(日中戦争)期に国策に関与した知識人の思想や動向について研究するほか、軍隊や戦争と神社の関係を全国的に調査している。軍事史や日本書紀に関する著書のほか、本講座テーマ関連の学術論文に『支那事変における河合栄治郎の国際情勢認識』(国際研究論叢)、『支那事変の長期化の一要因としての昭和研究会メンバーの言説』(歴史認識問題研究)などがある。</p>
<p>第3回</p> <p>10/2(土)</p> <p>14:00～15:30</p>	<p>「二人の「秀勝」と丹波」</p> <p>市立枚方宿鍵屋資料館・学芸員 片山 正彦 氏</p> <p>大阪府生まれ。佛教大学大学院文学研究科日本史学専攻博士後期課程修了、博士(文学)。専門は、日本近世初期政治史、近世地域史(京阪神地域)。著書に、『豊臣政権の東国政策と徳川氏』(思文閣出版、2017年)、『近世地域史文化史の研究』(共著・名著出版、2018年)、『丹波八木町の歴史 近世編』(共著・南丹市教育委員会、2013年)などがある。</p>
<p>第4回</p> <p>11/20(土)</p> <p>14:00～15:30</p>	<p>「丹波の食材が彩った宮廷文化」</p> <p>有職故実研究者 美馬 弘 氏</p> <p>徳島県生まれ。立命館大学文学部卒業。京都府立大学大学院研究科博士前期課程修了。専門は日本中世史。有職故実研究。また、丹波国の粟や豆と宮廷の食文化の関係を深く研究している。著書は『京都異国遺産』(平凡社、共著)、『第12回松本清張研究奨励事業報告書“松本清張と近代の巫女たち「神々の乱心」にみる「御神鏡」の研究”』(松本清張記念館)など多数。</p>
<p>第5回</p> <p>12/18(土)</p> <p>14:00～15:30</p>	<p>「織田信包の生涯」</p> <p>株式会社歴史と文化の研究所・代表取締役 渡邊 大門 氏</p> <p>神奈川県生まれ。関西学院大学文学部卒業。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。戦国時代の研究においては、特に赤松氏、山名氏、宇喜多氏を手がけるほか、戦国大名全般にも詳しい。著書に、『戦国期赤松氏の研究』(岩田書院)、『戦国期浦上氏・宇喜多氏と地域権力』(岩田書院)、『赤松氏五代』(ミネルヴァ書房)、『戦国・織豊期 赤松氏の権力構造』(岩田書院)、『論集 赤松氏・宇喜多氏の研究』(編著・歴史と文化の研究所)など多数。</p>